

歴博くらしの植物苑だより

くらしの植物苑観察会 くらしの植物苑東屋 13:30から

1月26日(土) 『炭と植物』 吉村郊子 本館研究部歴史研究系

2月23日(土) 『浜のくらしと植物』 江口誠一 千葉県立中央博物館

今週のみどころ <http://rekihaku.ac.jp> 毎週木曜日

冬の華・サザンカ 展開催中 1月27日(日)まで

サザンカ群・カンツバキ群が見ごろです。東屋周囲にサザンカ群・ハルサザンカ群が、ハウス1にサザンカ群、ハウス2にカンツバキ群が展示してあります。

東屋周囲



サザンカ群・ハルサザンカ群

入り口近くハウス



サザンカ群

畑奥のハウス



カンツバキ群

カンツバキ群



富士の峰：白色、千重咲き



曳馬乙女：桃紅色、花卉中心に白筋



早咲紅衣：紅色、獅子咲き



重扇：白色、外弁の裏は桃色、獅子咲

トチノキ (トチノキ科トチノキ属)

葉もすっかり落ちてしまい、大きな冬芽が目立ちます。冬芽はつやがあり、樹脂をだしてねばねばしています。冬芽の下には大きくハート形から腎形をした葉痕が目立ちます。葉痕の中にある点々は維管束痕です。



イチョウ (イチョウ科イチョウ属)

きれいな黄葉を楽しんで、また銀杏を拾った人も多かった城址公園のイチョウもすっかり葉を落とし、きれいな樹形を見せてくれます。イチョウも葉を落としたあとの葉痕が見られます。葉痕は半円形で維管束痕は2個で、2個というのは樹木ではイチョウだけです。



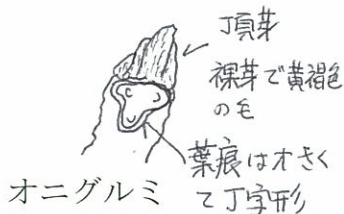
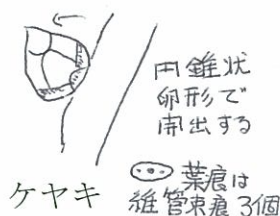
ソシンロウバイ (ロウバイ科ロウバイ属)

初春に花を咲かせる植物たちは、もう花の準備ができています。これは1月に花を咲かすソシンロウバイの花芽です。



冬芽：なかなか聞きなれない言葉です。

冬芽は葉が展開するまでの間、見かけ状違った形をしているものです。冬の時期は樹の樹形や葉の落ちたあと、葉痕や冬芽、花芽、樹皮などを観察するのにとてもいい季節です。どんな形をしているのでしょうか



保高社 「冬の樹木本」 参考